

令和7年度 大学卒業程度 第2次試験（論文課題）

試験区分	行政 警察 教育 事務	事務 事務
------	----------------------	----------

高知県は県土の約9割を中山間地域が占め、そこに県民の約4割が暮らしていますが、高齢化・過疎化が進展していく中で、地域では担い手不足やコミュニティ活動の低下など様々な課題に直面しています。

高知県では、中山間地域の目指す10年後の姿や実現のための施策等を取りまとめた「中山間地域再興ビジョン」を策定し、「若者を増やす」「暮らしを支える」「活力を生む」「しごとを生み出す」の4つの施策の柱と、これらに共通する「デジタル技術の活用」の横串的な施策を加えた5つのテーマごとに10年後に達成すべき姿と数値目標を掲げて取組を推進しています。

そこで、誰もが将来に希望を持って暮らすことのできる中山間地域の実現に向けて、どのような取組を進めていく必要があるか、あなたの考えを述べてください。

試験区分	土 木
------	--------

本県は、県総面積に占める林野面積割合が84%と全国1位であるなど、中山間地域が県土の多くを占めています。こうした中山間地域では年々人口減少や高齢化が進んでいることから、本県では地域の活力を取り戻し、住民の皆さんが将来に希望を持って暮らし続けられるよう、中山間地域再興ビジョンを策定し取組を進めています。

こうしたなか、建設業は社会資本整備の担い手であると同時に、地域の安全・安心を担う「地域の守り手」としても重要な産業です。

そこで、あなたが考える中山間地域における建設業が果たすべき役割について、あなたの考えを述べてください。

試験区分	建築
------	----

30年以内に80%程度の確率で発生すると言われている「南海トラフ巨大地震」が発生した場合、発災後から復旧・復興に向けた建築技術職員としての必要な行動について、あなたの考えを述べてください。また、被害を最小限に抑えるために震災前に準備すべきことについて提案してください。

試験区分	農業
------	----

高知県では、人口減少対策として、新規就農者の増加、特に若者・女性の就農者の増加に取り組んでいます。若者の就農者確保に向けては、初期投資がかからず、就農へのハードルが低くチャレンジしやすい「雇用就農の場」を増やすことが重要と捉え、企業誘致の推進や法人の育成などについて、取組を強化しているところです。

そこで、高知県の農業の持続的な発展に向け、新規就農者、特に雇用就農者を増加させていくためには、どのようなことに取り組んでいくべきか、具体的な方策について、あなたの考えを述べてください。

令和7年度 大学卒業程度 第2次試験（論文課題）

試験区分	林業
------	----

本県は、県土の84%を森林が占めており、このうち65%が人工林となっています。

この多くの人工林が木材として利用可能な時期を迎えており、高知県産業振興計画（林業分野）では、令和5年に70万8千立方メートルであった原木生産量を、令和9年には85万立方メートルまで引き上げていくことを目標にしています。

そこで、原木の生産拡大や安定供給を図っていくための課題と、今後、その課題の解決に向けて、どのように取り組むべきか、あなたの考えを述べてください。

試験区分	水産
------	----

水産資源の減少や海洋環境の変化による不漁、燃油や資材の高騰による操業コストの増加、魚価の低迷など、高知県の漁業を取り巻く環境は厳しく、多くの課題があります。

「漁業センサス」によると、高知県の令和5年の漁業就業者数は2,622人で、平成15年（5,824人）及び平成25年（3,970人）と比較してそれぞれ55%及び34%減少しており、長期的な減少傾向に歯止めがかからない状況となっています。

このような中、高知県の漁業を地域で稼げる魅力的な産業へと変えていくにはどのような取組が必要で、それを行政としてどう支援すべきか、また、その支援によってどのような効果を期待するのか、あなたの考えを述べてください。

試験区分	化学
------	----

本県の製造業発展のために有効と思われる研究開発課題について、下記①から⑥の分野から一つ選び、化学の知識を備えるあなたの視点でその内容について説明してください（選択した番号を明示すること）。

- ① 素材開発
- ② 化学プロセス開発
- ③ 品質管理・分析
- ④ 環境対策・廃棄物管理
- ⑤ 製品開発
- ⑥ エネルギー関連

試験区分	農芸化学 (衛生・食品)
------	-----------------

国は、外食における食品ロスの削減の取組のひとつとして、消費者の自己責任を前提とした食べ残しの持ち帰りを促進する「消費者及び事業者に向けた食べ残し持ち帰りに関する食品衛生ガイドライン」を2024年12月に策定しました。

この「食品ロス量」について、国では、2030年度までに、2000年度と比べ、半減させる目標を掲げているところですが、高知県の食品衛生監視員として、食中毒等の発生予防も踏まえどのような取組を進めるべきか、あなたの意見を述べてください。

試験区分	電 気
------	-----

南海トラフ地震の発生確率は、今年の1月に6年ぶりに見直しがなされ、30年以内に80%程度の確率で発生すると言われていています。そのため、国においては、南海トラフ地震などの大規模災害発生時の停電リスクや被害想定について今年の春、大幅な見直しを行い各地で防災対策が強化されています。

今後、南海トラフ地震が発生した場合、最大で約2,930万軒が停電すると予測されており、四国地方では、復旧までに3週間ほどかかると予想されています。

そこで、発電施設等を維持管理している技術者として、高知県内のダムや発電施設における事前対策についてどのような取組を行う必要があるか、あなたの考えを述べてください。

試験区分	機 械
------	-----

高度成長期以降、河川や道路はもとより港や公園、砂防施設など多くの公共インフラが整備されてきました。現在、こうしたインフラ施設は、計画的な修繕・老朽化対策による適切な維持管理に多大な経費が必要となっています。

一方、本県では、切迫する南海トラフ地震や激甚化・多発化する風水害に備えるため、四国8の字ネットワークや浦戸湾の三重防護をはじめ防災・減災、国土強靱化等の取組を進めており、インフラの整備にも多大な経費を要しています。

そこで、排水機場、水門や港湾荷役機械等の機械施設の運用や管理に第一線で携わる立場として、合理的かつ効果的に維持管理を行っていくための具体策について、あなたの考えを述べてください。

試験区分	社会福祉 (児童福祉)
------	----------------

令和5年度の全国の児童虐待対応件数が225,509件と過去最高を記録しました。児童虐待が起こる背景には、家庭環境や社会的要因など様々な要因があります。その要因を考察し、国及び地方公共団体の責務となっている「児童の保護者とともに児童を心身ともに健やかに育成する」ために、児童虐待全体の約6割を占める心理的虐待について、どのような対応が効果的か、あなたの考えを述べてください。